巻頭特集

7事業を集約した多世代共生施設

桑名福祉ヴィレッジ

らいむの丘

2022年4月。桑名福祉ヴィレッジに保育園、養護老人ホームなど7事業を集約させ、多世代が暮らし、交流できる拠点として誕生した「らいむの丘」。社会福祉法人桑名市社会福祉協議会が運営する新しい交流の場を訪ねました。

県内でも希少な存在の母子生活支援施設も

子どもから高齢者まで、障がいのある・なしを問わずに生活できる多世代共生施設「らいむの丘」が桑名福祉ヴィレッジ内に誕生しました。

児童発達支援センター長であり、らいむの丘総センター長でもある中川義文さんは「5つの事業所、2つの相談所、さらに農産物や市内にある障がい福祉サービス事業所の焼き菓子や日用品などを販売するらいむショップ、ヴィレッジ公園に交流の場・ヴィレッジセンターがあり、10施設がある場所と覚えてもらえたら」とPRします。

ここでは、保育園と児童発達支援センター、生活介護の日中に訪れて活動する「かよい」、養護老人ホームと母子生活支援施設の生活の場の「すまい」、ショップと地域交流センターの「かかわりあい」の3つのエリアがあります。

なかでも、県内に4つしかない母子生活支援施設が複合施設内に併設するのは、全国でも珍しいケースです。同じ敷地内に保育園や養護老人ホームがあり、みんながいる場所で母子が生活することで、安心感を持って暮らしてもらえることを期待しています。

利用者だけではなく地域住民とも交流を

らいむの丘の施設内を歩けば、元気に通園する保育園児、児童発達支援センターに通う子ども、生活介護を受ける人、年代、障がいのある・なしに関わらず、みんなが暮らしていることを実感します。

事業所が1つの場所に集約していることで多くのメリットが生まれます。「らいむの丘保育園に通いながら、子どものことで保護者が不安を感じたら、児童発達支援センターの専門家に相談できます。また、保育園に通園しながら児童発達支援センターに通う子どももいる。その場合、職員同士が連携して、子どもや保護者の不安を取り除くことに重きをおいています」と、中川さん。児童発達支援センターには保育士以外に保健師、臨床心理士、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士といった有資格者の専門家が在籍しているのも強み。不安と向き合いながら保護者に寄り添い、子どもたちが地域で暮らしていけることを模索しています。核家族化が進み、祖父母と生活したことのない子どもが増えています。保育園児、さらにシルバー世代が同じ空間を往来することで、新しい交流が生まれることも期待されます。

らいむの丘 総センター長
中川義文さん

7つの事業所が連携して相乗効果を生みたい

5つの事業所のほか、2つの相談所があるのも、らいむの丘の特長です。ケアプランセンターでは介護保険サービスを利用するためのケアプランを作成しています。専門資格を有するケアマネージャーが在宅高齢者の介護相談に応じ、寄り添いながら考えることに重点を置いています。障がい者（児）が安心して暮らせるよう、困りごとの相談窓口になる相談支援センターには7人の相談支援専門員がいます。発達の気になる子ども、肢体不自由、医師の診断書をお持ちの方などを対象に様々な困りごとや悩みに親身に対応することを心掛けています。

今春で施設の誕生から一周年を迎えます。中川さんは「地域の方から、ボランティアとして携わりたいというお声も多く頂戴しています。コロナ禍ではありますが、各機関と相談しながら、徐々に地域交流を深めていくことが狙い。隣にある自分の家。らいむの丘をそう思ってもらえたら」と笑顔を見せます。

多世代共生施設として注目を集めるらいむの丘は、利用者だけでなく、地域住民にとっても開かれた場所であるためにアクションを起こしていきます。

相談支援センター らいむの丘

発達における悩み解決をお手伝いして、保護者には育児が楽になる言葉をかけるよう心掛けます。そもそもどこに相談してよいかわからないと悩む方に、さまざまな視点からアドバイスができるはずです！

かよい

相談支援専門員
富永敏耀さん

ケアプランセンター らいむの丘

介護が必要になった方や家族からの相談を聞いたり、介護認定を受けるためのお手伝いとケアプランの作成をしています。必要な介護支援につながることに加え、その方らしさも生かした生活を送っていただけているときにやりがいを感じます。

かよい

センター長
伊藤英高さん

information

多世代共生施設
らいむの丘

［住所］桑名市大字星川2239-1
［問い合わせ］0594-41-3820（代）

イベント情報

「ボランティアの集い」

［日時］6月上旬の週末予定

ボランティア団体連絡協議会が集います

かよい

ナーシングセンター らいむの丘（生活介護事業所）

普段、利用者様が家でできないことにレクリエーションを通じて、笑顔になってもらえることが喜びです。個人ごとに楽しさ・喜びは違います。そこを私たちが引き出して、一緒になって利用者様と笑顔になる。そんな時間を過ごせるようにしていきます。

スタッフのみなさん

かよい

児童発達支援センター らいむの丘

子ども、保護者の力になれたら…と願いながら働いています。小さい子どもは毎日違う姿を私たちに見せてくれて、それが励みになります。育ちをサポートできる療育に力を入れながら、子ども、保護者に寄り添っていきたいです。

保育士
谷口香さん

かよい

らいむの丘 保育園

0歳児を担当していますが、日々子どもたちの成長を感じられることが喜びです。自然豊かな保育園で四季を感じ、様々な人と関わり感性豊かに成長してほしいと願いながら子どもたちと過ごしています。

保育士
川北久恵さん

かかわりあい

らいむショップ

らいむの丘利用者様だけでなく、ショップに来てくれるお客様も徐々に増えていてうれしいです。営業日・営業時間は読者プレゼントコーナーをご覧下さい。

スタッフ
千種隆昌さん

すまい

シルバーサポート らいむの丘ハウス（養護老人ホーム）

普段は入所者様の生活相談の受付や行政への申請などのお手伝いをしています。集団生活となりますが、生活されるうちに顔色が良くなり、元気な姿を見せてもらえることがうれしいです。

主任生活相談員
小川敦さん

らいむの丘ハイム（母子生活支援施設）

新しい環境で暮らす母子をサポートして自立へのお手伝いをしています。入所後の就職活動、子どもの学校のことなど、いろいろな相談にのっています。良い環境で自立して巣立っていってもらい、退所後には笑顔で遊びに来てもらえる。そんな関係を築きたいです。

すまい

母子生活支援員
篠原則子さん

文／南部武寛　写真／BUNBUN photos 井浪勇一郎　写真提供／多世代共生施設 らいむの丘　デザイン/chica